

Q：ものもらいがありました。4歳の子供でも使用できる目薬はありますか？

A：市販薬ではスルファメトキサゾールを含む抗菌目薬に、ものもらいの効果があるものは、基本的には4歳のお子様には使えます。年齢制限の記載は、メーカーによって異なり、設けられている商品もあるので、4歳の使用に問題ないか、薬剤師にきいてみましょう。

4歳であれば問題ありませんが、痛いとかかゆいとか、症状や使用感を訴えることができない年齢では使用を避けた方がよい場合もあります。

ものもらいは「麦粒腫（ばくりゅうしゅ）」という病気の俗称で、地域によって呼び方が異なるという面白い一面もあります。東日本では「ものもらい」関西では「めばちこ」と呼ばれることが多く、他にも「めいぼ」や「めんぼ」「めっぱ」など様々な呼び方があります。

ものもらいの多くは、健康な人の鼻や皮膚に常在しているブドウ球菌という菌がまぶたにある汗や脂を出す腺に感染することで起こります。ウイルス性の結膜炎と比較して他人にうつる可能性は低いとされていますが、兄弟や家族でうつることもあります。1回使い切りタイプの目薬なら家族で一緒に使うことができます。



症状は、まぶたの赤みや腫れ、うずくような痛み、かゆみ、充血、ゴロゴロとした違和感などができます。軽いうちは市販薬で対応できますが、腫れがひどい場合には切開などで膿を出す治療が必要になることもあります。早く治そうと自分で膿を出そうとしたり、不用意に温めたりしないようにしましょう。炎症や腫れが悪化してしまうことがあります。

